

# 平成23年度 行政評価(施策・事業)の結果

## 施策評価とは?

政策を実現するための個々の方策を示すもので、総合計画・戦略計画に定められた40の施策があります。

## 事業評価とは?

施策を実現するための具体的な手段で、約700の事業を実施しています。

### ● 中間報告へのパブリックコメント結果

意見の募集期間 平成23年7月1日～8月1日  
意見の提出状況 意見提出者0人、意見等の件数0件

行政評価とは、市で行っている行政活動の成果について、数値などを用的ながら客観的に評価するシステムです。

本市では施策評価と事業評価の2つを実施しています。施策評価では、1次評価中間報告へのパブリックコメントや石狩市行政評価委員会※による外部評価を参考として、市長をはじめとする行政評価会議が、最終評価を行います。

今回ご紹介するのは、本年度の石狩市行政評価委員会、外部評価の対象となった7つの施策とそれに連なる43の事業の評価結果です。市ではこれらの評価結果を踏まえ、来年度以降の施策や事業を見直していきます。

※評価の客観性および透明性を確保するために市職員以外の第三者で組織した評価組織

## 施策評価

対象施策名	行政評価会議(最終評価)方針
<b>公共交通環境の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の交通環境の維持に努めるとともに、バス事業者と連携し、市民の路線維持に対する意識高揚を図るための広報活動をホームページや広報紙などを活用し行う</li> <li>特に厚田区・浜益区においては、地域協議会で利用実績や運営状況等の情報提供を行い、区内の利用促進の働きかけも含め、存続のための具体的な取り組みについて、検討を行う</li> </ul>
<b>情報通信網の整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用促進を図るために、「IT戦略推進会議」が強いリーダーシップをとって、市としての取り組み方針を明確にする</li> <li>見守りネットワークなど、具体的な活用策について、所管との連携のもと、導入に向けた積極的な取り組みを進める</li> <li>すでに所管ごとに取り組んでいるICT活用事例については、「IT戦略推進会議」が全体化を図り、各種施策間の量的バランスや、横断的な連携を図ることにより、市全体の戦略的取り組みとして推進する</li> <li>費用対効果の改善のため、これまでに構築された情報通信基盤の一層の利用促進を図る</li> <li>ICTの活用の検討にあたっては、既存の枠組みにとらわれず、幅広い視点で可能性を検討する</li> <li>若手職員による検討チームなどを設け、事例研究や新しいアイデアの掘り起こしなども必要</li> </ul>
<b>保健・医療の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康意識の高揚を図るため、個人レベルでのきっかけづくりの一助となる「(仮)健康シート」の作成について、研究・検討を進める</li> <li>検診率の向上に有効である個別勧奨については、実施に向けて取り進める</li> <li>ウォーキングを実践している市民等との協働による「(仮)健康推進員」の創設を検討する</li> <li>各種健診業務などでは、事前準備・受付事務等も含めた、検診業務の全部委託方式の検討など、既存の事務内容の再精査を行い、保健師業務の重点化に努める</li> <li>コールセンター方式など、札幌圏との連携強化による新たな救急体制の検討を進める</li> <li>地域福祉基金を活用した事業展開の検討を行う</li> </ul>
<b>観光の振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町地区は、海水浴場・はまなすの丘・石狩川などの「ブランド」をさらに魅力あるものにできるよう、官民がそれぞれハード・ソフト両面からの取り組みを進めて、「温泉頼み」からの脱却を図る</li> <li>本市の農水産資源や企業集積を生かした特産品開発を支援すると同時に、市内外でこれらを発信する「物産振興」に向けての取り組みを開始する</li> <li>設備面での改善を行った厚田海浜プールと観光案内所の集客力やその可能性を見極め、指定管理者とともに望ましい運営のあり方を研究する</li> </ul>
<b>公園・緑地・水辺の整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市制施行以来継続している「花いっぱい運動事業」については、本市の市民協働のシンボリックな取り組みでもあることから、取り組みの持続性を確保しつつ、当面は、現状どおりの実施体制により継続する</li> </ul>
<b>景観づくりの推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のイベントや広報、ホームページ等を活用し、屋外広告物の啓発活動を実施するほか、看板等の違法設置者に対して指導を行う</li> <li>市としても、花いっぱい運動を持続可能な運動とするため、自宅で花を種から育てる実証実験を昨年に引き続き実施し、実効性の有無について検証する</li> </ul>
<b>青少年の健全育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもリーダー養成については、今後も継続していくとともに、登録後のリーダーの活動・実践の場として、各子ども会や市主催のイベントなどと連携する取り組みを行う</li> <li>児童の権利条約の普及・啓発については、CAP(子どもへの暴力防止)プログラムなどの各種事業や、パンフレットなどにより取り組みを推進する</li> <li>子ども・若者のひきこもりやニート対策については、平成23年度から保健福祉部局に担当セクションを設け、市民アンケートをはじめ今後に向けた取り組みを実施する</li> </ul>

事業評価

対象施策	今後の方向性
<b>施策に関連する事務事業</b>	
<b>公共交通環境の充実</b>	
地域生活バス路線運行対策事業	・当面は現行補助制度を持続
浜益滝川間乗合自動車運行事業	・当面は当該事業の継続 ・1便当たりの乗車人数が3人未満となった場合はあらためて事業の検証が必要
スクールバス混乗事業	・将来的に「ライフサポートの会」の有償運送事業との連携を検討
バス路線関係業務	・老朽化したバス待合所の計画的な修繕
総合交通体系業務	・北海道、札幌市と適宜情報交換 ・新港地域の公共交通環境改善に向けての検討
<b>情報通信網の整備</b>	
地域情報通信基盤整備事業	・光ブロードバンド基盤と情報通信技術の活用による市民サービス向上の検討
電子自治体推進事業	・簡易申請機能を利用した市の積極的な独自活用
<b>保健・医療の充実</b>	
地域健康づくり支援事業	・地域と連携した取り組みの継続
こころの健康推進事業	・うつ病や自殺予防に関する正しい知識の普及啓発 ・受け皿としての相談体制を整備
保健センター管理運営事業	・一般開放の利用促進
浜益保養センター管理運営事業	・地域や異業種などとの連携により、利用者(入館者)の増加を図る
成人検診事業	・地域との協働による健康づくりの中で周知啓発を強化 ・特定対象者の検診料金の軽減の検討
健康増進事業	・「石狩市健康づくり計画」に基づく取り組み
母子相談・指導事業	・5歳児健康相談について、平成24年度以降は可能な限り全園に拡大
母子健康診査事業	・受診勧奨や健診後の事後フォローを図る
赤ちゃん訪問事業	・訪問率の向上を図るため、長期不在者や訪問拒否者などへの対応強化
女性のがん検診促進事業	・受診しやすい検診体制の整備 ・積極的な受診勧奨(時期・回数)
特定保健指導事業	・積極的な個別勧奨
地域医療支援事業	・平成24年度以降の拠出金の額について、過去の決算状況を勘案し決定 ・補助対象経費等の一定のルール化、拠出金要綱の見直し
浜益国民健康保険診療所運営事業	・引き続き、診療体制の強化や経常コストの削減等に努める
後期高齢者医療特別会計運営事務(保健事業)	・現行どおり継続実施(健康診査) ・期間内に受診するよう勧奨を行う(脳ドック・人間ドック)
<b>観光の振興</b>	
海水浴場等開設業務	・トイレ水洗化、イベント開催などによる集客力アップ
観光センター運営事業	・入館者数、物販実績の回復に向け、指定管理者と協議
厚田観光施設運営事業	・他の観光事業と連携した集客イベントを開催
観光振興事業	・観光人材育成のターゲットを再確認した上で、その育成に効果的な施策を検討
(社)石狩観光協会運営支援事業	・市と観光協会の役割の明確化
林道ウォーク事業	・参加者のための魅力づくりを検討
<b>公園・緑地・水辺の整備</b>	
公園整備事業	・地域との合意形成に基づく整備
緑化推進団体支援事業	・各団体への普及・啓発
河川緑地広場整備事業	・地域との協働により、市民の憩いの場を維持できるよう努める
花いっぱい運動事業	・計画的な黒土の補充 ・花の配布数の増加については方法も含めて検討
あつたふるさとの森事業	・新たな市民参加の手法の導入や、民間からの資金調達などについて検討
厚田の森支援組織サポート事業	・より多くの方が参加できるよう、「植樹」活動などの支援内容の検討
公園維持管理事業	・長寿命化計画に基づく維持管理
公園改修事業	・利用度が高い野球場やテニスコートの改修
<b>景観づくりの推進</b>	
屋外広告物簡易除却事務	・違反広告物や設置者等への啓発
<b>青少年の健全育成</b>	
次世代育成事業	・各種リーダーの有効活用の検討 ・担い手確保を図るための子ども会などとの協議
子ども参加プロジェクト事業	・関係機関との連携・協働により、参加意欲向上を図り、達成感を育むとともに居場所づくりを推進
地域プレーリーダー事業	・実践イベントを各関係機関・団体と協働開催
石狩市PTA連合会運営支援事業	・協働事業による「家庭教育推進カルタ」の作成
成人式開催事業	・引き続き、現行通り実施
子どもの健全育成事業交付金業務	・必要に応じた指導・助言を行う
子どもの権利啓発プログラム事業	・地域の関係者など対象を拡大 ・保護者への周知啓発を強化